

秋の火災予防運動 11月9日~11月15日

目で確認 声出し確認 火の用心 令和7年度東京消防庁火災予防標語 作者：岩崎 公瑠美さん（清瀬市在学）

小学生が「はたらく消防の写生会」で描いた作品です



今回のテーマは

リチウムイオン電池による住宅火災

令和6年中の
主な火災原因は



1



放火・疑い

2



たばこ

3



ガステーブル

ですが

本年、成城消防署管内では電気火災が24件発生し、そのうち7件がリチウムイオン電池を搭載した製品から発生しています。

（8月31日現在）



リチウムイオン
電池による

住宅火災

～ 過去最多106件発生(令和6年中東京消防庁管内)～

すぐに

お使いのリチウムイオン電池を
確認しましょう



☑異常を感じた場合は、使用を中止!!

膨らみ、変形、充電できない、充電中や使用中に熱くなる

☑リコール対象商品の場合は、使用を中止!!

対象商品の確認は消費者庁リコール情報サイトで



消費者庁リコール情報サイト

住宅火災における 製品用途別の発生状況



モバイルバッテリー



携帯電話機



ポータブル電源



電動アシスト付自転車



コードレス掃除機

モバイルバッテリー	35件
携帯電話機	10件
コードレス掃除機	9件
ポータブル電源	8件
電動アシスト付自転車	6件
タブレット	5件
ワイヤレスホン	5件
ノートパソコン	3件
電動工具	3件
空調服バッテリー	2件
その他	20件
計	106件

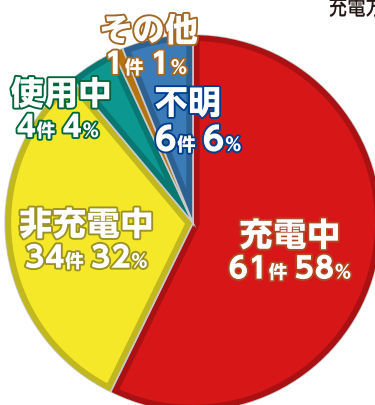
「その他」は携帯扇風機、コードレスヘアアイロン、ビデオカメラ、音楽プレイヤーなどです。

住宅火災における 出火時の状況内訳

約3割が非充電中に発生

分解・廃棄・バッテリー交換・外部衝撃(落下)など

分解・廃棄・バッテリー交換	9件
外部衝撃(落下)	6件
使用方法誤り(非純正品バッテリー使用)	1件
製品の欠陥(リコール含む)	1件
通常に使用して出火	1件
その他	5件
不明	11件



約6割が充電中に発生

充電方法誤り(正規品以外で充電)製品の欠陥(リコール含む)など

充電方法誤り(正規品以外で充電)	8件
製品の欠陥(リコール含む)	6件
通常に使用して出火	5件
外部衝撃(落下)	3件
使用方法誤り(非純正品バッテリー使用)	1件
その他	10件
不明	28件

リチウムイオン電池による火災は、運行中の電車内、駅ホーム、上映中の映画館、無人の事務所、事務所の倉庫内、新築工事現場の建物内、教室など場所を問わず発生しています。



こうして起こった!! 実際にあった事例



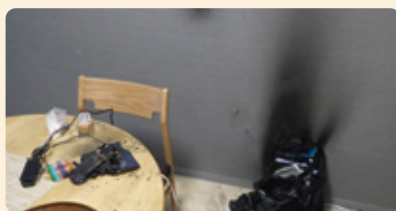
充電中のモバイルバッテリーから出火

深夜「ボン」と破裂するような音がしたので部屋を見ると、ベッドのサイドテーブルから炎が立ち上がっていました。充電中のモバイルバッテリーと枕から炎が出ていたので、部屋にあったタオルでたたいて消火しました。

現場の消防士からひと言



誰も気が付かなかつたら人命危険が…。消火器や住宅用火災警報器の備えが大切ですね。



充電中のモバイルバッテリーから出火

寝る前にテーブルの上でモバイルバッテリーの充電をしました。(非純正品のACアダプタを使用)「パン」という音がしたので部屋を見ると、テーブルの上と床上のリュックから炎が立ち上がっていました。洗面器で水を何杯かかけて消火し、コンセントを抜きました。

現場の消防士からひと言



離れたところにまで被害が及ぶ威力を感じました。正規の充電器を使って充電することが大切ですね。



スマートフォンを分解中に出火

使用しなくなったスマートフォンのバッテリーを廃棄するために、工具を使って内蔵されているリチウムイオン電池を取り出そうとしたところ、誤ってリチウムイオン電池を傷つけてしまい、白煙が出てきました。

現場の消防士からひと言



製品に衝撃を与えたり、むやみに分解すると発火を招きます。適切に廃棄することが大切ですね。

住宅火災から大切な命を守るために

消火の備えをしましょう

初期消火に有効な消火器を準備しておきましょう。業務用の消火器よりも軽量で、女性やご高齢の方も扱いやすい「住宅用消火器」も販売されています。



住宅用火災警報器を備えましょう

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知して火災が発生したことをいち早く知らせ、素早い避難や有効な初期消火、早期通報につなげることができます。



リチウムイオン電池は適切に廃棄しましょう!

世田谷区では10月1日から、不燃ごみの日にご家庭から排出される充電式電池(リチウムイオン電池など)の資源・ごみ集積所での収集を開始しています。

※膨張・変形したものは、発煙・発火の危険があるため集積所には出せません。清掃事務所などの窓口を持参してください。不燃ごみの日の出し方など詳細は、世田谷区のホームページを確認するか、せたがやコール(03-5432-3333)までお問い合わせください。



秋の火災予防運動イベント情報

全て参加無料！

せいじょう 消防フェスタ ～消防士と学ぼう！ おいでよ消防署～

成城消防署の庁舎や消防車の見学、ミニ消防車、ミニ防火衣装着など様々なブースが体験できます。



とき:令和7年11月8日(土曜日)

午前の部:10時から12時
午後の部:13時から15時

ところ:成城消防署
[世田谷区成城1-21-14]

消防演習



新しくなった病院・特別養護老人ホームを舞台に、病院の自衛消防隊と、消防隊や消防団が力を合わせて消火活動を行います。

とき:令和7年11月7日(金曜日)

14時から14時30分

ところ:社会福祉法人東京有隣会
有隣病院・第2有隣ホーム
[世田谷区船橋2-15-38]

～70周年を迎えるにあたり地域の皆さまへ～

成城防火防災協会

昭和30年12月設立

成城防火防災協会
第8代会長

岩波 桂三



成城防火防災協会は、昭和30年に成城消防署の誕生と共に発足して以来、防火防災思想を普及し火災の発生を未然に防止するとともに、地震災害発生時における防災行動力の向上を図ることを目的とし、活動してまいりました。

ここに70周年という大きな節目を迎えることができましたのは、地域の皆さまのご理解とご協力の賜物であり感謝申し上げます。

近年は、首都直下地震の発生が危惧されており、これまで以上に地震への備えが重要であることは言うまでもありません。今後も成城消防署と手を携え、地域の防火・防災行動力の充実と向上を図り、住民の皆様がいつまでも住みよい街と評していただけるよう努めてまいります。



成城火災予防協議会

昭和30年12月設立

成城火災予防協議会
第5代会長

大槻 明彦



開署当時の
庁舎

成城火災予防協議会は昭和30年11月に成城消防署が開署し、同年12月に設立しました。消防署同様に70周年という大きな節目を迎えることができましたのは、成城消防署をはじめとする関係各位のご指導とご支援の賜物であり御礼申し上げます。

当会の目的であります「火災による災害を未然に防止し、被害を最小限に軽減する」ための活動を70年間継続したことで、近年の火災件数や焼損床面積の大幅な減少の一端を担ってきたと思います。今後も、消防関係機関と連携を密にし、これまでの足跡を振り返るとともに、防火防災に関する関心を高め、災害のない安全・安心な街づくりに貢献していく所存ですので、成城消防署の皆様をはじめ関係各位のご支援を承りますようお願い申し上げます。

電話で相談
東京消防庁救急相談センター
#7119
こちらからつながります
23区 03-3212-2323 多摩地区 042-521-2323
24時間受付・年中無休

医師や看護師等からなる相談医療チームが救急車の必要性のアドバイスや受診可能な医療機関の案内を電話で行っています。

消防団員募集
18歳以上の健康な方
消防団の区域に居住・勤務・通学している方
詳しくは消防団連絡センターまで
0120-119-588
市町村の方は、各市町村の窓口までお問い合わせください。

消防団は、自営業や会社員、学生などで組織されている消防機関で、安全・安心な街づくりの実現に欠かせない存在です。



**成城
消防署**
成城一丁目21番14号



**千歳
出張所**
千歳台四丁目29番9号



**烏山
出張所**
南烏山六丁目14番12号

03-3416-0119

03-3484-0119

03-3307-0119



ホームページ <https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/fs/seijyo/index.html>